

都立世田谷総合高校 令和3年度 年間授業計画

教科・科目(単位数)	保健体育・保健 (1単位)
対象年次	1年次
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)
使用副教材	現代高等保健体育ノート(大修館書店)
科目担当	

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 学期	4 月	1. 私たちの健康のすがた	わが国における健康水準の変化、健康問題の変化について理解し、説明することができる。	<評価の観点> 関心・意欲 ・態度 知識・理解 思考・判断 <評価方法 定期考査3回 提出物 ワークシート 授業の取組 出欠状況	1
		2. 健康のとらえ方	健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとそれにかかわる要因について理解し、説明することができる。		1
1 学期	5 月	3. 健康と意志決定・行動選択	意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因、健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫について理解し、説明することができる。	を総合的に 判断し 5段階で 評価する	1
		4. 健康に関する環境づくり	健康づくりを支える環境、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについて理解し、説明することができる。		1
		5. 生活習慣病とその予防	生活習慣病について呼称の由来や病例を説明することができ、また、生活習慣病の予防について理解し、説明することができる。		2
1 学期	6 月	6. 食事と健康	健康的な食生活の重要性と意義、健康的な食生活習慣の形成について理解し、説明することができる。		2
		7. 運動と健康	健康からみた運動の意義、健康づくりのための運動習慣の形成について理解し、説明することができる。		2
		8. 休養・睡眠と健康	健康からみた休養・睡眠の意義、健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方について理解し、説明することができる。		2
1 学期	7 月	定期考査Ⅱ			
		9. 喫煙と健康	喫煙の健康影響、喫煙開始の要因と依存性、日本や世界のたばこ対策について理解し、説明することができる。		2
2 学期	9 月	10. 飲酒と健康	飲酒による健康への短期的および長期的影響、飲酒の開始要因と社会問題、飲酒による健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し、説明する		2
		11. 薬物乱用と健康	薬物乱用や薬物依存による健康への悪影響、薬物乱用の開始要因と社会問題、薬物乱用による健康被害を防ぐためのさまざまな対策について理解		2
		12. 現代の感染症	感染症は、時代や地域によって、社会環境や自然環境の影響を受け、発生や流行に違いがみられることを説明できる。		1

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
2 学 期	1 0 月	13. 感染症の予防	感染症予防の原則を理解し、感染症予防のための社会的な取り組みと、個人がおこなう対策について説明できる。		1
		14. 性感染症・エイズとその予防	性感染症・エイズについて理解するとともに、予防するための個人・社会がおこなう対策について説明することができる。		2
		15. 欲求と適応機制	精神機能が主として大脳で統一的、調和的に営まれていること、また人間にはさまざまな欲求があること、欲求不満に対処するための適応機制について理解し、説明することができる。		1
2 学 期	1 1 月	16. 心身の相関とストレス	心身相関のしくみとストレスの原因、ストレスの影響と心の健康について理解し、説明することができる。		1
		17. ストレスへの対処	ストレスへのさまざまな対処方法について理解し、説明できる。		1
		18. 心の健康と自己実現	自己実現と心の健康との関係、自己実現の道筋と達成について理解し、説明することができる。		1
2 学 期	1 2 月	定期考査IV			
		19. 交通事故の現状と要因	交通事故の現状とその要因について理解し、説明することができる。		1
3 学 期	1 月	20. 交通社会における運転者の資質と責任	安全な運転のための資質、交通事故を起こした場合の責任と補償について理解し、説明することができる。		1
		21. 安全な交通社会づくり	安全な交通社会づくりのための法的な整備と施設・設備の充実、車の安全性の向上について理解し、説明することができる。		1
3 学 期	2 月	22. 応急手当の意義とその基本	応急手当の意義やその手順について理解し、説明することができる。		2
		23. 心肺蘇生法	心肺蘇生法の原理と意義、心肺蘇生法の各手順について理解し、説明することができる。		2
3 学 期	3 月	定期考査V			
		24. 日常的な応急手当	日常的なけがの応急手当、熱中症の応急手当について理解し、説明することができる。		2
				計	35